

やまだんの 山田野

3

独立行政法人

国立病院機構 北陸病院

〒939-1893 富山県南砺市信末5963

TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460

年頭のごあいさつ



あけましておめでとうございます。皆さまには健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。昨年、当院は国立病院機構の病院評価にて、経営面・医療面の総合点で初めて従来の「B」評価より1ランク上の「A」の評価を得ることができました。病院長として大変喜ばしく思いますと同時に、職員ならびに平素よりお世話になっている関係者の皆さま方に感謝申し上げます。

さて、今年は国立病院・療養所が独立行政法人化されて最初の中期目標期間の最終年にあたります。昨年12月21日付けで、厚生労働大臣宛に「政策評価・独立行政法人評価委員会」委員長より、「独立行政法人の主要な事務及び事業の改廃に関する勧告の方向性について」という答申がなされました。そのうちの「独立行政法人国立病院機構の主要な事務及び事業の改廃に関する勧告の方向性」において、「独立行政法人国立病院機構の主要な事務及び事業については、国が独立行政法人に実施させるべきものに特化し、業務の質の確保を図りつつ、その運営の効率性・自律性を高めるとともに、国の歳出の縮減や国民負担の軽減を図る観点から、以下の方向で見直しを行うものとする」として、5つのポイントが挙げられています。その第1「事務及び事業の見直し」の1「病院経営の在り方の総合的検討」のなかで、「次期中期目標期間開始後2年程度を目途に、個々の病院ごとに、本来の政策医療を提供するという機能の発揮状況及びそれに要するコスト、地域の医療状況やそこで果たしている役割、今後の設備更新の必要額や収支見込み等も含めた経営状況等について総合的

に検証し、その結果を公表するとともに、必要な改善措置を講ずるものとする」ということが述べられています。すなわち、個々の病院が、「国の政策医療機関としての役割を果たしているか」、「地域の医療機関として必要とされる存在であるかどうか」、「健全な病院運営が確保できているか」の3点が今後問われることになるかと思えます。今年はそれらの課題に向けて当院が提供する医療内容、施設運営について将来を見据えた「方向性」を決定する年になろうかと考えております。不透明、不確実、不安定な状況下、ご指導、ご鞭撻を賜れば幸甚に存じます。



上の写真は年末に山田野にかかった虹ですが、この雨上がりの虹のように希望と情熱を持って前に進んで行きたいと思えます。

最後に、今年も皆さまにとって良い年になることを祈念し、年頭のごあいさつとさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

(院長 古田 壽一)



認知症

— 代表的な認知症と特徴 —



副院長 坂本 宏

前回は認知症の種類と診断について述べましたので、今回は認知症の中で代表的な4つの疾患とその特徴についてお話しします。

1 アルツハイマー型認知症 (AD)

認知症の約半数を占める最も多い疾患で加齢に伴って増加するので誰でもなる可能性があります。脳の細胞が障害されるため、新しいことを覚えられないもの忘れから始まり、次いで時間や場所が不確かとなり、語を思い出せず言葉の理解が悪くなり、その場限りの取り繕いや作話が多くなり、これまで普通の生活で自然とやれていたことが上手でできなくなります。これらはできたりできなかったりしながらゆっくりと進行し、比較的体は丈夫で本人の自覚も乏しいので年齢のせいとされやすく注意が必要です。糖尿病、高血圧、高コレステロール血症などの生活習慣病や喫煙などが危険因子と言われています。予防には、脳を刺激して脳の血液循環を良くして脳機能を活発にすることで心と体のストレスを少なくする快のトレーニングが勧められています。また、その方によって効き目は違いますが進行を遅らせる薬もあります。

2 血管性認知症 (VD)

脳梗塞や脳出血などの脳血管の障害が原因でおこる認知症で、多くは突然の意識障害や体の麻痺などの神経症状を伴います。しゃべりにくい、食べ物を飲み込みにくい、ふらつきやすく歩きにくいなど障害される脳内場所によって体の麻痺症状は異なりますが、もの忘れや時間・場所の不確かさに加え、感情の不安定さ（怒りっぽい、涙もろい）や意欲の低下がみられ、時には夜眠れずに興奮して

大声を上げたりすることもあります。また、生活習慣病全てが危険因子ですが特に高血圧には注意が必要で、脳血管障害を伴うアルツハイマー型認知症も少なくありません。さらに脳梗塞などを繰り返すごとに階段状に悪化することが多いので再発防止が重要です。

3 レビー小体型認知症 (DLB)

アルツハイマー型認知症と同じような症状・進行がみられますが、誰もいないのに「あそこで人が手を振っている」などありありとした幻視を訴えたり、パーキンソン病のように動きが硬く鈍くなり、小股の歩行や座っていても姿勢をきちんと保てなくなったり、意識が変動しやすいので食事しながら寝てしまったりなど特徴的な症状がみられます。それらの治療薬に対して症状が悪化するなど過敏なので新しい薬を服用するときには注意が必要です。

4 前頭側頭型認知症 (FTD)

65歳未満で発病する若年性認知症の中では多い疾患です。もの忘れから始まることは少なく、自己や社会に対する関心が乏しくて意欲が低下したり、単調で同じことを繰り返したり、抑制がとれた非道徳的な言動など人格の変化が目立ちますが、具合が悪いと自覚することはあまりなくて周囲の方が困ってしまいます。当初は時間や場所の見当識も保たれていることも多くて自分勝手な行動をとり、そのためうつ病や統合失調症と間違われたり、反社会的な行為でとがめられたりすることがあります。そのため、より専門的な対応が必要となります。

職場紹介のページ

【5病棟】

5病棟は、定床数50床の老人性認知症疾患治療病棟です。認知症に伴うせん妄、うつ状態、幻覚、妄想（物盗られ・被害）、不眠（夜眠らない）、興奮、徘徊、攻撃性（乱暴行為）などの行動障害が著しく、自宅や施設での対応が困難な方が入院されています。

病棟には、大きなデイルームがあります。そこで日中のほとんどを病棟スタッフと共に過ごしております。病棟の特徴として、徘徊時に行き止まりによる不快感を与えないために、全長50メートル以上の回廊式廊下があります。また、家族に対して日常生活の指導・訓練を行い、家族と一緒に宿泊できる在宅療養訓練指導室があります。

病棟スタッフは、医師4名（他病棟も兼務）、看護師17名（師長含む）、業務技術員5名、作業療法士1名です。日々のお世話は、担当看護師を決めて看護させていただいております。食事、排泄、着替え、入浴等日常生活能力の維持向上のために本人の意欲を高め快の刺激となる援助の提供に努めております。また、患者様にとって、安全で安心できる生活・療養環境を整えています。

薬物療法・心理療法・作業療法による治療の他、生活機能回復訓練を行っています。これは、レクリエーションや、季節の行事、音楽など様々なプログラムを通して自発性や活動性の低下や認知症症状全般の進行を抑えたり、「その人らしい」周囲の人との接し方や協調性を取り戻すことを目的に行うものです。



農園芸

医療チーム（主治医・病棟師長・看護師・作業療法士・栄養士・臨床心理士・精神保健福祉士）によるカンファレンスが定期的に行われ、多角的、総合的な検討を行い、QOL（生活の質）の向上を目指しています。また、尊厳性の保持とその人らしい人生の継続を目指しています。



カンファレンス

師長 永田 智雅

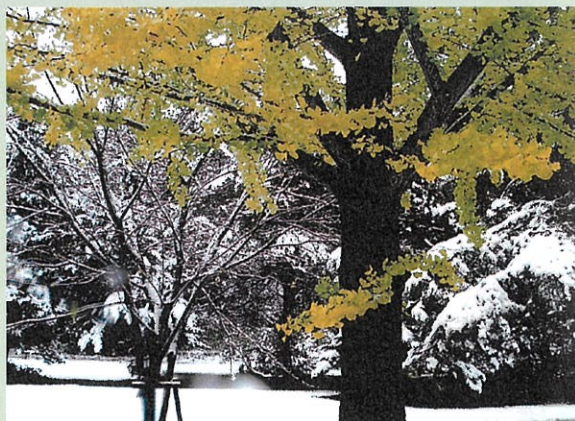
外来担当医表

項 目		月	火	水	木	金
精神科・神経科（初診）		市川	坂本	白石	石崎	林
精神科・神経科（再診）		石崎	白石	細川	市川	村田
内 科		渡辺	渡辺	渡辺	荒幡	渡辺
専 門 外 来	睡眠（初診）		古田	古田	古田	
	睡眠（再診）		竹内	古田	細川	
	神経難病	●受付・診療時間・・・8:30～11:30 診察は全て予約制となっています。 睡眠外来ではセカンドオピニオンも実施しています。 地域医療連携室にご相談ください。 【地域医療連携室 直通電話】 0763-62-1950				
	重症心身障害					
	アルコール					
	もの忘れ					
	ストレスケア					

北陸病院の四季

病院の広大な敷地には、たくさんの樹木が生い茂っています。花をつけるもの、実をつけるもの…など。正門からしばらく行くと、数本の銀杏の樹が目に入ります。毎年秋には見事に紅葉し、多くの実を付けます。

写真は、昨年11月の初雪の光景です。白く雪化粧した木々の中で、まだ紅葉の余韻褪めやらぬ銀杏が黄金色の輝きを放っています。



【交通アクセス】

◆交通機関

JR 城端線、城端駅より、タクシーで約5分。

◆高速道路

東海北陸自動車道、福光ICより約5分。

◆南砺市コミュニティーバス

JR 城端駅・福光駅より出ています。



独立行政法人 国立病院機構 北陸病院

〒939-1893 富山県南砺市信末 5963

TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460

ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~hokuriku/>

【編集・発行】北陸病院

【広報担当】石崎・吉岡・前田・寺井